

市議会だより

73



上の岱地熱発電所 空撮写真




～持続可能な再生可能エネルギーの推進～

本市は「ゼロカーボンシティ宣言」の実現と、SDGs達成に向かって、温室効果ガスの排出量の削減を図っています。地熱発電所も、地域貢献を含めて大きく期待されています。


※写真は、本市で最初に完成した上の岱地熱発電所の生産井C基地です。

第1回定例会

定例会概要・令和5年度予算概要	……P.2・3
代表質問	……P.4～7
一般質問	……P.8～12
議決結果一覧表・討論・賛否一覧表	……P.13～15
総括質疑	……P.16・17
令和4年度補正予算概要・関係私企業	……P.18
1月臨時会、議会からのお知らせ	……P.19
議会のうごき ほか	……P.20

 ちいき本棚

スマートフォン・タブレット用アプリ「SideBooks」で「ゆざわ市議会だより」がご覧になれます。

 マチイロ

スマートフォン・タブレット用アプリ「マチイロ」で「ゆざわ市議会だより」がご覧になれます。



令和5年

第1回 定例会



第1回定例会は、2月22日（水）から3月17日（金）までの24日間の会期で行われました。

開会日には、佐藤市長による施政方針と和田教育長による教育行政方針の説明が行われたほか、令和5年度各会計当初予算を中心に議案50件が上程されました。

本会議6日目には、補正予算案など追加議案3件が上程され、採決の結果、条例案16件、予算案24件、財産の無償譲渡など13件を同意・原案可決しました。

人事案件

- 人権擁護委員候補者の推薦
齋藤 千鶴子（再任／上院内）
村山 一郎（再任／湯ノ原）
柴田 恭子（再任／山田）

条例の制定

- 湯沢市皆瀬庁舎条例
施設の設置及び管理に関する必要事項を定める

条例の一部改正

- 湯沢市情報公開・個人情報保護審査会条例
- 湯沢市定年前に退職する意思を有する職員の募集等に関する条例
- 湯沢市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例
- 湯沢市雄勝文化会館条例・湯沢市湯沢文化会館条例・湯沢市文化交流センター条例
開館時間、休館日及び指定管理者制度の導入に係る規定を追加、使用料等の改定並びに規定の整理
- 湯沢市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例
特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準の一部改正に伴う所要の改正
- 湯沢市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例・湯沢市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例
各事業等の設備及び運営に関する基準の一部改正に伴う所要の改正
- 湯沢市国民健康保険条例
- 湯沢市道路路占用料徴収条例
- 湯沢市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例
職員の事務誤りにより、市政に対する信頼と市職員に対する信用を失墜させることとなった責任を取るため、市長、副市長の給料を減額する

条例の廃止

- 湯沢市高齢者等在宅生活総合支援条例
- 湯沢市農村広場条例
- 湯沢市立稲川克雪センター条例

計画の変更

- 湯沢市過疎地域持続的発展計画
産業の振興、交通施設の整備、交通手段の確保等の施策について、事業内容を追加及び変更する

財産の無償譲渡

- 旧佐野児童館（譲渡先／佐野集落）
- 旧三又分館（譲渡先／三又自治会）
- 旧三梨老人憩の家小型合併処理浄化槽（譲渡先／蒜田自治会）

市道の廃止・認定

- 廃止する路線名 泉の里線（橋梁の撤去による）
- 認定する路線名 道の駅おがち線、小町の郷公園線（新たに整備する路線）、泉の里線（橋梁撤去に伴い起点及び終点が変更される路線）

権利の放棄

- 回収が不可能な個人に対する債権（水道料金）

工事請負変更契約の締結

- ※変更後の工事期間は令和5年7月31日まで
- 湯沢市皆瀬庁舎建設工事（建築）
・変更後契約金額 8億7728万7千4百円
・変更理由 土工事の運搬費等の増加による
- 湯沢市皆瀬庁舎建設工事（電気設備）
・変更後契約金額 2億1826万7千5百円
・変更理由 電流制御装置の追加等による
- 湯沢市皆瀬庁舎建設工事（機械設備）
・変更後契約金額 1億9876万5千6百円
・変更理由 融雪設備埋設管の仕様変更等による

令和5年度

各会計予算を可決

一般会計 287億9,804万4千円 (対前年度比 0.9%増 ※第1号補正を含む)

特別会計 114億 738万8千円 (対前年度比 3.3%減)

◆ 主な事業 ◆

【新規】

- ▽デジタル変革推進事業 (情報政策課) 1, 232万3千円
- ▽出産・子育て応援事業 (子ども未来課) 2, 078万円 **第1号補正含む**
- ▽道の駅おがち周辺整備事業 (観光・シガール推進課) 9, 705万8千円
- ▽中学校部活動地域移行推進事業 (生涯学習課) 148万4千円

【拡充】

- ▽未来投資型人材育成事業 (まちづくり協働課) 1, 456万円
- ▽湯沢の魅力情報発信事業 (情報政策課) 1, 396万円
- ▽施設型給付事業 (子ども未来課) 13億304万4千円

- ▽結婚サポート事業 (まちづくり協働課) 830万5千円
- ▽子どもの未来応援事業 (子ども未来課) 319万6千円
- ▽雇用創出対策事業 (商工課) 2, 960万円
- ▽秋の宮温泉郷活性化事業 (観光・シガール推進課) 499万円
- ▽スポーツイベント開催事業 (生涯学習課) 260万円

【継続】

- ▽官民連携推進費 (まちづくり協働課) 261万6千円
- ▽新型コロナウイルス ワクチン接種事業 (健康対策課) 2億1, 432万2千円 **第1号補正含む**
- ▽6次産業化施設整備支援事業 (農林課) 1, 273万8千円
- ▽小・中学校長寿命化改修事業 (教育総務課) 4, 919万5千円
- ▽体育施設改修等事業 (生涯学習課) 3億4, 730万円
- ▽地球温暖化対策事業 (くらしの相談課) 951万1千円
- ▽克雪住宅推進事業 (都市計画課) 600万円
- ▽湯沢駅周辺複合施設等整備事業 (企画課) 5億6, 445万5千円
- ▽新皆瀬庁舎整備事業 (財政課) 7億4, 610万8千円

《各会計予算》

会計名		本年度予算額
一	一般会計	287億9,804万4千円
特別会計	国民健康保険	45億7,633万8千円
	後期高齢者医療	6億2,306万7千円
	介護保険	55億2,931万4千円
	養護老人ホーム愛宕荘	2億7,605万5千円
	皆瀬更生園	3億1,982万8千円
	湯沢財産区	2,695万9千円
	院内財産区	3,708万9千円
	秋ノ宮財産区	1,873万8千円
水道事業	収益的収入	12億9,471万9千円
	収益的支出	12億891万8千円
	資本的収入	6億1,771万8千円
	資本的支出	10億3,650万8千円
下水道事業	収益的収入	15億7,264万5千円
	収益的支出	15億1,092万7千円
	資本的収入	4億4,862万3千円
	資本的支出	9億5,427万9千円

※令和4年度補正予算の概要については、P18に記載

令和5年 第1回定例会 代表質問



質問者 議員 佐藤 功平

- ・令和5年度予算編成方針について
- ・第2期湯沢市子どもの未来応援計画について
- ・少子化対策について
- ・地熱開発と温泉熱利活用について
- ・稲川老人福祉センター緑風荘の今後について
- ・学校給食業務の民間委託について



湯沢市議会
ユーチューブ
チャンネル
代表質問の動画を
ご覧になれます。

質問 枠配分方式による予算編成として2年連続となるが、そのメリットについて伺う。

答弁 枠配分方式導入のメリットとしては、歳入規模に見合った適切な歳出予算が組まれるほか、配分の中で自らの責任において自発的な事業の見直しや優先順位をつけるなど、事業のスクラップ・アンド・ビルドの推進が期待できること、また市民ニーズを現場目線でもり的確に予算に反映でき、職員が財政を意識した事業の組み立てを行うことでコスト意識の向上にもつながる効果があるものと考えて

いる。

質問 湯沢市経営戦略に基づく戦略的な取組を徹底するとあるが、その内容について伺う。

答弁 これまで以上に厳しい行財政環境が続く中で、時代の要請や市民の要望に添えていくためには、施策の重点化と成果を重視した経営的な視点での行政運営が必要となる。強固で堅実な行財政基盤の確立が必要であることから、湯沢市経営戦略を策定し戦略的な経営方針の下で市政を推進していく。

質問 第二期湯沢市子どもの未来応援計画の基本的な考え方を

伺う。

答弁 本計画においては、全ての子供が生まれ育った環境によって左右されることなく、心身ともに健やかに育ち、必要な環境整備と教育の機会が均等に保証され、一人一人が夢や希望をもって成長できるよう、身近な地域や子供の居場所から子供の変化に気づき、早期の支援につながるよう、気づきつながる支援を最も重要な取り組みと位置付けている。

質問 子供の貧困に係る現状と課題について伺う。

答弁 厚生労働省が実施した国

民生活基礎調査によると、平成30年時点で、子供の貧困率は13.5%となっており、子供のおよそ7人に1人が貧困状態にあることが把握されている。

質問 若い世代の出会いの機会創出や、結婚に対する前向きな意識の醸成を図るための対応策について伺う。

答弁 今年度は、新たな取り組みとして、結婚応援スキルアップセミナーを男女別に4回、婚活イベントを2回開催し、結婚に向けた動機付け支援と交流促進を展開した。

質問 少子化に歯止めがかからないのは、これまでの少子化対策が十分ではなかった結果だと認識する必要があるのか伺う。

答弁 少子化対策については、特定の施策により十分に結果が得られるものではなく、多方面にわたり切れ目のない施策の展開が重要であると認識しており、今後も国・県による少子化対策と歩調を合わせながら、引き続き安心して子供を産み、育てることができる環境の整備に努めていく。

代表質問

質問 地熱開発による経済効果と地域共生は、どのように図られるのか伺う。

答弁 一般的な企業誘致と同様に、建屋の建設や施設整備による地元企業への工事発注や物品調達、施設設備のメンテナンス、さらには雇用や市税収入の増加など、多方面にわたり波及効果があるものと考えている。地熱発電所が立地する地域住民や温泉宿泊施設等の地場産業事業者、学識経験者、自然保護団体等で構成する地熱資源活用協議会を組織し、情報共有と理解促進を図りながら各関係者が共存できるような慎重に地熱開発を推進している。

質問 電力の地産地消に期待している市民が多いと思うが、安価な電力を提供できるのか伺う。

答弁 湯沢市ゼロカーボンシティ宣言実現のためにも積極的に進める必要があるものと認識しているが、現在の固定価格買取制度の仕組み上、再生可能エネルギー電源で発電された電気については、一定期間、送電設

備を持つ事業者が、国の定める価格で買い取る必要があり、市民の皆さまに通常よりも安く電気を流通させることができないのが実情である。

質問 地熱・温泉熱の活用は、地域振興の大きなチャンスであると思うが考えを伺う。

答弁 地熱発電所の整備をはじめ、熱水の産業利用や観光誘客に加え、横浜市と再生可能エネルギーを活用した地域活性化に関する連携協定を締結したところであり、産業分野や地域間交流など、地域振興に大きな足かりとなるものと捉えている。

質問 緑風荘のサウンディング型市場調査の結果と今後の機能再編を含めた対応策について伺う。

答弁 施設機能の再編については、緑風荘の老人福祉センターとしての集会機能や窓口相談機能、介護予防拠点としての機能は廃止することとし、現在利用の中心となっている保養・休養機能については、稲川地域において唯一の温泉施設であり、地域の保養・健康増進の場となっ

ていることから、今後も継続していく。

質問 入湯税・使用料収入と利用者数の推移と拡充策を伺う。

答弁 緑風荘の過去3年の利用者数は、令和元年度は5万1543人、令和2年度は3万3937人、令和3年度は3万8238人と推移している。令和3年度の使用料収入は815万8340円、入湯税は570万4350円となっている。令和6年度には、老朽化した建物の修繕や設備の更新、現在3か所ある浴槽を2カ所にするなど、快適性の向上を目指した改修工事を計画しているほか、さらなる利用者の増加に向けて取り組んでいきたいと考えている。

質問 食育をサポートする「川連塗り」漆器の給食用食器としての利活用は今後どのように展開するのか伺う。

子供が少ない中、本市の未来をつくる子供たちは、地域の宝である。木製の持つ柔らかさ、漆のぬくもりに触れて本物を使う心の豊かさ、感性を育ててい

ただきたい。

答弁 汁椀の試作品を作成し、学校給食センターの既存設備で使用が可能か試験中である。今後は令和5年度中の学校での試験運用開始を目指し、状態を確認しながら、段階的に本運用を行い、将来的には、その他の食器についても漆器の活用を検討していきたいと考えている。



代表質問

せい 政 和 かい 会



議員 正雄 議員 代表質問者 湯沢 かつ

- ・ほっと館の管理運営について
- ・緑風荘について
- ・安全・安心で良質な教育環境の整備と通学支援について
- ・教育委員会と学校・PTA・地域住民との関わりについて
- ・放課後児童健全育成事業について
- ・防犯対策の強化について
- ・防災対策について
- ・湯沢駅周辺複合施設整備事業について
- ・地熱等の利活用促進について
- ・稲川スキー場周辺の樹木による修景について

湯沢市議会
ユーチューブ
チャンネル
代表質問の動画を
ご覧になれます。



質問 ほっと館の利用時間について伺う。

答弁 4月1日からの利用時間の変更に合わせて、看板の表示内容を変更する予定で準備を進めている。併せて施設玄関前や建物内、市ホームページも表示内容を変更する予定としている。

また、休館日や利用時間の変更に係る周知については、今後、ほっと館に掲示するほか、市ホームページやSNS、広報でお知らせする。

質問 緑風荘の施設改修について伺う。

答弁 現在、老朽化した建物や設備の改修に向けた建物調査を実施しており、この結果を踏まえ、令和5年度にアスベストの事前調査、改修工事の実施設計など改修工事に向けた準備を進

め、令和6年度に施設改修工事を行う計画としている。施設、設備の全面的な改修を予定しているため、工事期間中は臨時休館となるが、工事完了後、速やかに営業を再開したいと考えている。

質問 冬期のスクールバス通学支援がスタートし、徒歩通学区間の不審者への不安の解消、保護者の送迎の負担軽減、見守り箇所への減少による支援の負担軽減など、さまざまな問題が解消、改善されている。この冬期の体制を本市のスクールバス運行のモデルとしていただきたく見解を伺う。

答弁 八面地区は、稲川小学校までの通学距離が2キロメートル以上、4キロメートル以内であることから、市のスクールバ

ス乗車対象基本方針に基づいて、冬期はスクールバス、夏期は徒歩通学の対象としている。これまでのところ、夏期の通学に当たり、配慮すべき個別の事情を承つておらず、夏期は、引き続き徒歩での通学をお願いする。

質問 徒歩通学の際、八面地区の一部の児童の中には集団下校する相手がいないという状況を把握しているか伺う。

答弁 八面地区以外の地域においても、下校途中から一緒に帰宅する相手がなくなる状況も把握している。課題がある場合には、家庭の迎えや地域の方々の見守りを中心に、引き続き家庭、学校、行政、関係機関が連携して、安全・安心な登下校ができるように努めていく。

質問 小・中学校のトイレにつ

いて、洋式トイレの設置状況と洋式化に向けた今後の整備計画について伺う。

答弁 市内小・中学校に、洋式トイレが未整備の学校はない。平成28年から洋式化を進め、現在、小学校1校及び中学校1校が完全洋式となっている。

今後は、湯沢市学校施設の長寿命化計画に基づく大規模な改修に併せて洋式化を図っていくとともに、身体面において配慮が必要な児童・生徒に対応するためのバリアフリー化改修時に洋式化を図っていく。



冬期スクールバス通学の様子

代表質問

質問 豪雪期における震災対応について、どのような対応を想定しているのか伺う。

答弁 冬季の特性として、寒い、凍結、日中の時間が短いなど、また、移動が制限されるという状況が想定される。こうした状況の中、家屋の倒壊、倒木などによる停電、雪崩などによる孤立地域の発生等が危惧され、避難所の開設も想定されることから、発電機及び投光器をそれぞれ24台、防寒用品として対流型の石油ストーブを20台、毛布1703枚を備蓄している。今後も、冬季における災害応急対策などが迅速かつ的確に展開できるように、防災体制の強化と、地域住民の防災意識の高揚を図るための冬季防災訓練の実施を検討していく。

質問 湯沢駅周辺複合施設整備事業について伺う。

答弁 本事業は、消防庁舎跡地および湯沢市土地開発基金が保有する先行取得土地といった公有地を事業対象地として、市の中心部に点在する公共施設の諸機能の集積を図るとともに、余

剰地への民間収益施設の誘致を基本としている。令和4年9月には民間事業者との契約を締結し、基本設計に着手する予定で



質問 DXは現時点でどのような分野から進められるか。

答弁 次年度当初からは全ての分野を視野に入れた各種申請や届出などの行政手続について、庁舎に足を運ぶことなく24時間手続可能な電子手続の拡充について、可能な分野から順次進めていく。また、スマートフォンでの利用率が高いLINEを介した電子申請システムを市独自に導入し、利便性の向上を目指していく。

質問 デジタル変革アドバイザーの役割について伺う。

答弁 国の政策要綱や民間での取組に関する知見、市の全体方

あり、集客力のある複合施設の整備を契機に、湯沢駅周辺への新規出店や新たな事業展開など、民間事業者の自主的な取り

質問者 湯沢市議会議員 豪 大山

- ・デジタル変革推進事業について
- ・企業誘致対策事業について
- ・ICTを活用した授業改善支援事業について

組みがにぎわい創出や活性化につながることを期待している。

針、立案や計画策定、具体的施策に関する助言、施策の優先順位付け、庁外のDXの推進に関して、範囲を限定せずアドバイザーにいただくこととしている。

質問 企業（誘致）への具体的なアプローチとして、どのような課題があるか。

答弁 地方への進出を模索する企業の情報をいかにキャッチしていくか、生産年齢人口が減少していく中で労働力をいかに確保していくかが、誘致を成功させる上での大きな課題と捉えている。

質問 ICT機器の持ち帰りなどの成果について伺う。

答弁 持ち帰りにより情報活用能力に大きな向上が見られたと認識している。家庭での児童のICT活用の様子から、保護者の皆さまは児童の学習状況を把握し、児童の成長を認めるなど、児童と保護者の双方に大きな成果があったと感じている。

質問 個別最適な学びへのICT活用の成果について伺う。

答弁 ICTの活用により、教師は児童の実態に合わせた支援ができ、児童は自分に合った学び方を選択でき、授業のねらいの達成につながったと感じている。今後効果的な活用に向けて研修などを通じて検証していく。

湯沢市議会
YouTube
チャンネル
代表質問の動画を
ご覧になれます。




第1回(3月)定例会

一般質問

一般質問

3月2、3日に開かれた本会議では、8人が一般質問を行い、活発な議論を展開しました。質問項目と答弁を要約した内容は次のとおりです。

 各議員の一般質問の様子を、YouTube動画でご覧いただける二次元コードを掲載していますので、ぜひご視聴ください。

	議員名 ※(質問方式)	質問項目	ページ
3月2日	高橋 達 (一括)	◇どうする 「市民目線の行政サービス」の在り方 ◇どうなる 今後の「教育環境」の在り方	P. 9
	寺田 純二 (分割)	◇市内経済等の対策について ◇子供たちの安全・安心な環境づくりについて ◇湯沢市地域行動プログラムについて ◇市の発信力について	
	大山 豪 (一括)	◇湯沢市官民データ活用推進計画について ◇令和5年度予算について ◇財政運営方針について ◇本市の小・中学校のいじめ防止等の取組について	P.10
	高橋 肇 (一括)	◇人口減少下における災害時の体制確保について ◇認知症施策の推進について ◇本市の魅力発信とふるさと納税の充実について ◇秋の宮温泉郷観光案内施設の活用について	
3月3日	小田嶋秋一 (分割)	◇本市のDX(デジタルトランスフォーメーション)の推進について ◇湯沢市ジオパーク推進協議会の活動について ◇地熱発電所の地域貢献について	P.11
	柏原 久寿 (一括)	◇農業政策について ◇道の駅おがち周辺整備事業の個別施策について ◇少子化対策(学校給食)について ◇中学校部活動地域移行推進事業について	
	加藤 昭嗣 (分割)	◇ふるさと未来創造部について ◇市民満足度調査について ◇学校教育について	P.12
	宮原 晃 (一括)	◇インボイス制度の導入について ◇地域共生社会について ◇聴覚障がい者と難聴者への対応について ◇手話言語条例の制定について	

※一括質問方式…全ての項目を一括して質問し、一括して答弁を求める方式
分割質問方式…質問項目ごとに分けて質問し、その都度答弁を求める方式

一般質問

◆どうなる「市民目線の行政サービス」の在り方

質問 今後の「行政サービス」はどうあるべきか、市長の基本姿勢を伺う。

答弁 誰もが安心して希望が持てるまちづくりを目指し、市民の声や状況を把握し、必要に応じて、自分の目でしっかり確かめる事を念頭に置き、職員と共に市民目線に立った行政サービスを実践していく。

質問 全国の市町村では、書かない窓口サービスの導入が進んでいるが、本市での導入も検討すべきと考えるが、考えを伺う。

答弁 当然推進していきたいと考えているが、本市が目指すところは、さらに利便性を上げ、市役所に来なくても手続きが出来るような所までデジタル技術を活用した改革を進めていく。

質問 市民からの窓口サービスへの評価を行うことにより、窓口サービスの向上につながると思われるが、評価方法を検討すべきかどうか考えを伺う。



湯沢市議会
ユーチューブチャンネル

一般質問の動画を
ご覧になれます。

答弁 市民と対応させていただく場合、記録を残す、もしくは、しっかり評価をいただくということが、次へのステップにつながることはないかと思っている。やり方も含めて検討させていただく。

◆どうなる今後の「教育環境」の在り方

質問 教育行政方針の「学校教育」に関連して、災害時を含めた「防災教育」は重要不可欠と思うが、見解を伺う。

答弁 有事の際に、自分の命は自分で守ることができる児童・生徒を育成するためにも、防災教育は重要であると捉えている。

◆市内経済等の対策について

質問 物価高騰等による影響に関して、市民生活への対策について伺う。

答弁 低所得の子育て世帯給付金事業については、ひとり親世帯322世帯の児童465人、ひとり親以外の住民税非課税世帯155世帯の児童281人に對し、1人当たり5万円を支給している。エネルギー価格高騰対策緊急支援金事業は、交付決定件数は638件、支給総額は1億742万2千円である。いまだにエネルギー価格・物価高騰の傾向は続いているため、国・県の動向を注視し、今後の対応をさらに検討していく。

質問 企業の人材不足等が顕著だが、人材確保のため、本市として資格取得支援策等があるか伺う。

答弁 生産年齢人口が減少し、専門性の高い技術者の確保が極めて難しい現状に對するため、令和5年度は、資格取得支援事業を実施し、市内企業に對し、積極的な人材育成の取組を促していく。

◆子供たちの安全・安心な環境づくりについて

質問 全国的に子育て時に

ける貧困問題、教育の格差がニユースや新聞などで取り上げられているが、本市では、ヤングケアラーの認知度向上と取組について、どのような対策をしているのか伺う。

答弁 広報紙において、周知や理解を図るとともに、小・中学生や教職員への理解を促すべく、啓発活動を実施している。また、小・中学生へのアンケート調査を実施することで実態を把握し、必要な支援を早期に行う。令和5年度からはヤングケアラー等、家庭環境に心配のある子育て家庭に對して、ヘルパーが家事、掃除、買物等の家事支援を行う。子どもと家庭の自立応援訪問事業を実施し、

子どもの負担を軽減しながら、生活環境の改善に向けて支援をしていく。



湯沢市議会
ユーチューブチャンネル

一般質問の動画を
ご覧になれます。

一般質問

◆財政運営方針について

質問 公債費負担比率について、毎年度の市債発行額に上限を設け、借入と元金償還のバランスを取るとしているが、本運営方針の策定以後、どのように評価されているか。

答弁 令和5年度当初予算について、市債発行額が24億円、市債の償還にあたる公債費予算額が約31億円であることから、プライマリーバランスは黒字化の見通しである。過去5年間においても黒字であり、引き続き、後年度の財政負担を抑制する取組を継続し、市債残高の逓減を図る。

質問 市債発行に絡み、今後の財政運営状況に大きく影響すると考えられる要素やマイナス材料は何か。

答弁 今後様々な大型事業があり、市債発行額は若干上回るが、残高としては逓減しており、一定の財政健全化は担保されていると認識している。

◆本市の小・中学校のいじめ防止等の取組について

質問 いわゆるいじめについては、極めて多面的な問題であると考えられるが、いじめの認

知、調査事例や報告について伺う。

答弁 これまでのいじめゼロではなく、令和4年度はいじめ未解決ゼロを目指し、程度に関わらずいじめの確実な報告、いわゆるいじめの積極的な認知を学校に指導している。これまでも、児童・生徒が苦痛を感じているといったところは、小さなところから早く見つけて解決をしようという方針で指導している。

質問 いじめの認知数はどのようにカウントされているか。

答弁 学校における、いじめの把握方法は、毎日の教師の観察や、児童・生徒、保護者及び関係機関からの情報による方法、児童・生徒へのアンケートによる方法等がある。



◆人口減少における

災害時の体制確保について

質問 消防団員の減少に伴う分団等の統廃合についての考えを伺う。

答弁 消防団員の減少から、構成する分団、部及び班の統合は、避けては通れない現状であり、令和5年度に第2期湯沢市消防力整備推進計画を策定する。

◆認知症施策の推進について

質問 認知症の方を守るツールとして、高齢者保護情報共有サービスシステムを導入できないか伺う。

答弁 数年前に検討した事があるが、全般について情報収集をしっかりとしながら再度検討する。

◆本市の魅力発信と

ふるさと納税の充実について

質問 バーチャルユーチューバーを自治体の広報に起用する動きが広がっているが、本市でも取り組む考えがあるのか伺う。

答弁 費用や効果等に関して先進事例を調査し、起用にに向けた検討を行っていく。

◆秋の宮温泉郷

観光案内施設の活用について

質問 南の玄関口の施設として、テーブルや椅子を設置し、休憩できるスペースを設けるべきと考えるが。

答弁 観光案内のスペースにテーブルを設置し、本施設で魅力的な立ち寄り先や関連する情報を得て、市内の観光を楽しんでいただくとともに、施設看板を現状の大きさから2倍程度拡大し、立ち寄る機会の増大を図りたい。

質問 施設2階の有効活用をすべきと考えるが。

答弁 ミーティングルーム等、1階の機能を何か補うようなものが、できないか今後検討する。



一般質問

◆市のDXの推進について

質問 DX推進における職員の業務改革の課題と対策について。

答弁 DXの推進には、市民サービスの利便性向上のみならず、今後の人口減少に伴う職員数の減少に備えて、既存業務の効率化を実現していくための優先課題でもあり、今ある業務を単にデジタル化するだけではなく、各業務を最適化し生産性向上に向け改善し続ける。

◆湯沢市ジオパーク推進協議会の活動について

質問 ゆざわジオパーク認定商品についてのPRや購入方法の問題点と改善点を伺う。

答弁 市民の皆様や市内事業所への認定商品に関するPRは十分と言えず、認定商品数も31点にとどまっている。

購入方法に関しては、認定商品のチラシには事業者の連絡先の記事はあるものの、購入手法や時期、場所等の詳細な情報がなく、購入しようとしている方への情報提供が不十分であったと認識している。今後は、情報の見やすさや認定商品の説明、購入の際の注意点など記載情報

の充実を図りたい。

◆地熱発電所の地元貢献について

質問 本市の地熱発電所は建設中も含めると全国2位になる見通しと国内屈指の発電量となっているが、各発電所の地元貢献について伺う。

答弁 これまでも数多く行っていただいている。山葵沢地熱発電所が行う地域貢献策については、地域との合意形成を図りながら内容をまとめていく段階であるが、その結果を踏まえ、かたつむり山発電所や木地山地熱発電所などが行う地域貢献策の検討に入りたいと考えている。地下資源は市民共通の財産という観点から、地域はもちろんのこと、市全体として、発電事業所と協議をしていく。



おだしま しゅういち 小田嶋 秋一 議員



湯沢市議会 ユーチューブチャンネル 一般質問の動画をご覧いただけます。

◆農業政策について

質問 令和5年度の重要施策について伺う。

答弁 新規就農者の確保・育成に係る支援、おうとうの生産体制強化に係る支援、食品衛生法改正に対応する措置として漬物製造・販売に係る施設や設備の整備費助成、有機農業の推進に意欲のある方へ環境に配慮した農法を学ぶ機会の創出を計画している。

質問 第3次湯沢市農業振興計画の基本方針と施策の方向性を伺う。

答弁 基本方針としては、多様な担い手が活躍できる農業の確立、地域を支える持続可能な農業の確立、自然と調和した環境に優しい農業の確立の3つである。この基本方針に基づき、地域で暮らし稼げる農業を実現し、地域農業の担い手や後継者が意欲を持って農業経営に取り組めるように推進していく。

◆道の駅おがち周辺整備事業の個別施策について

質問 施設の改修と整備の進捗状況を伺う。

答弁 施設内の販売スペースや観光案内所、休憩所、トイレ等の配置やテナント誘致の検討を

含め、3施設の一体的な利用を視野に入れた計画策定を予定している。

質問 駐車場拡張・再整備の取組内容を伺う。

答弁 新たに大型駐車場を道の駅の西側に整備する予定。芍薬の栽培を行っている民間施設から小町の郷公園への芍薬の移植を計画している。

◆少子化対策(学校給食)について

質問 段階的な学校給食の無償化を急ぐべきと考える。また、地産地消の推進と地元食材の提供について伺う。

答弁 子育て世帯の負担軽減施策と認識しているが、財源の確保が課題であり、国の動向を注視しながら検討していく。ふるさと献立への活用など引き続き地元産食材を使用した学校給食の提供に努めていく。



かしわばら ひさし 柏原 久寿 議員



湯沢市議会 ユーチューブチャンネル 一般質問の動画をご覧いただけます。

一般質問

◆ふるさと未来創造部について

質問 人数を含め、来年度の各総合支所の体制について伺う。

答弁 人数の大きな変更は考えていないが、DXの推進などによって安心して市民サービスが提供できるよう体制の強化を図る。

質問 総合支所の役割は。また特にDX推進については、高齢者の方々への理解、丁寧な説明が必要では。

答弁 より身近な行政の窓口であることを認識している。機器の使い方の説明を行うことはもちろん、例えばテレビのリモコンで市民サービスが提供できる程度まで改革できないか検討を進める。

質問 災害時の対応を含め、将来にわたり地元で精通した職員配置をお願いしたいが。

答弁 各総合支所長からも地域出身の職員配置の要望を受けているが、年齢、階級構成などから難しい面もある。しかしながら、災害時などには出身地で勤務させる指示を出す場合もある。

◆市民満足度調査について

質問 調査のなかで除排雪に対する市民の感心が高く、より充実した対策を進めるべきでは。



答弁 自助、共助の力を取り入れ、調査の結果にとらわれず対策を講じていく。

◆学校教育について

質問 稲川地域の通学路の危険箇所状況と対応について伺う。

答弁 16の危険箇所のうち、15箇所では今年度までに改善できる予定である。

質問 市道下平城線の歩道整備の今後の計画と工事中の代替の通学路の選定状況について伺う。また、三梨地区までの延伸をお願いしたい。

答弁 令和4年度は測量と道路の詳細設計、5年度に用地測量と物件の調査、6年度に用地の取得、7・8年度に工事を実施する。代替の通学路については、保護者を含めて状況を確認しながら通学路の方針を早期に示してまいりたい。

◆インボイス制度の導入について

質問 シルバー人材センターにおいては、制度導入に伴う影響は極めて大きいと考えるが、市の対応策について伺う。

答弁 シルバー人材センターの会員のほとんどには影響がないが、シルバー人材センターは課税事業者のため制度の適用を受けられることとなる。令和四年からシルバー人材センターと協議を重ねている。運営に際し、過大な影響が生じることがないよう、引き続き連携しながら対応していく。

◆地域共生社会について

質問 地域共生社会実現に向けて、どのように取り組んできたのか伺う。

答弁 庁内において組織の横断的な調整を図り、地域共生社会へ一体的に取り組むべく研修会を行うとともに市民の皆様向けには地域共生社会への認識や理解を深める目的で地域福祉セミナーを開催し、意識の醸成に努めている。

◆聴覚障がい者と難聴者への対応について

質問 加齢性難聴者の補聴器購

入に對しての公的助成制度を創設する自治体が全国で増えているが本市の考えを伺う。

答弁 本市では、加齢性難聴者への助成は行っていない。全国市長会では、身体障害者手帳に該当しない加齢性難聴者への助成について補助制度の創設など必要な措置を講じることを求めている。今後も、国や県、他の自治体の動向を注視していく。

◆手話言語条例の制定について

質問 手話等の普及、理解促進などを図るための手話言語条例の制定について、本市の考えを伺う。

答弁 手話言語条例の制定の予定はないが、手話奉仕員養成事業を実施し、手話の普及、聴覚障がい者への理解を深める活動を行っている。



湯沢市議会
ユーチューブチャンネル
一般質問の動画を
ご覧になれます。

令和5年 第1回定例会 議決結果一覧表

※は賛否が分かれたもの

○提出議案(53件)／2月22日、3月17日上程 2月27日、3月17日議決

▼付託省略 (3件)

番 号	件 名	議決結果
議案第2号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	同 意
議案第3号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	同 意
議案第4号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	同 意

▼総務財政常任委員会 審査 (12件)

番 号	件 名	議決結果
議案第5号	湯沢市皆瀬庁舎条例の制定について	原案可決
議案第8号	湯沢市立稲川克雪管理センター条例の廃止について	原案可決
議案第9号	湯沢市情報公開・個人情報保護審査会条例の一部改正について	原案可決
議案第10号	湯沢市定年前に退職する意思を有する職員の募集等に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第11号	湯沢市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第20号	湯沢市過疎地域持続的発展計画の変更について	原案可決
議案第21号	工事請負変更契約の締結について (湯沢市皆瀬庁舎建設工事 (建築))	原案可決
議案第22号	工事請負変更契約の締結について (湯沢市皆瀬庁舎建設工事 (電気設備))	原案可決
議案第23号	工事請負変更契約の締結について (湯沢市皆瀬庁舎建設工事 (機械設備))	原案可決
議案第24号	財産の無償譲渡について (旧佐野児童館)	原案可決
議案第25号	財産の無償譲渡について (旧三又分館)	原案可決
議案第52号	湯沢市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部改正について	原案可決

▼教育民生常任委員会 審査 (10件)

番 号	件 名	議決結果
議案第6号	湯沢市高齢者等在宅生活総合支援条例の廃止について	原案可決
議案第7号	湯沢市農村広場条例の廃止について	原案可決
議案第12号	湯沢市雄勝文化会館条例の一部改正について	原案可決
議案第13号	湯沢市湯沢文化会館条例の一部改正について	原案可決
議案第14号	湯沢市文化交流センター条例の一部改正について	原案可決
議案第15号	湯沢市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決
議案第16号	湯沢市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決
議案第17号	湯沢市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決
議案第18号	湯沢市国民健康保険条例の一部改正について	原案可決
議案第26号	財産の無償譲渡について (旧三梨老人憩の家小型合併処理浄化槽)	原案可決

▼産業建設常任委員会 審査（4件）

番 号	件 名	議決結果
議案第19号	湯沢市道路占用料徴収条例の一部改正について	原案可決
議案第27号	市道の廃止について	原案可決
議案第28号	市道の認定について	原案可決
議案第29号	権利の放棄について（水道料金）	原案可決

▼予算決算常任委員会 審査（24件）

番 号	件 名	議決結果
議案第30号	令和4年度湯沢市一般会計補正予算（第12号）	原案可決
議案第31号	令和4年度湯沢市国民健康保険特別会計補正予算（第4号）	原案可決
議案第32号	令和4年度湯沢市後期高齢者医療特別会計補正予算（第4号）	原案可決
議案第33号	令和4年度湯沢市介護保険特別会計補正予算（第4号）	原案可決
議案第34号	令和4年度湯沢市養護老人ホーム愛宕荘特別会計補正予算（第4号）	原案可決
議案第35号	令和4年度湯沢市皆瀬更生園特別会計補正予算（第4号）	原案可決
議案第36号	令和4年度湯沢市湯沢財産区特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第37号	令和4年度湯沢市院内財産区特別会計補正予算（第3号）	原案可決
議案第38号	令和4年度湯沢市秋ノ宮財産区特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第39号	令和4年度湯沢市水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第40号	令和4年度湯沢市下水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第41号	令和5年度湯沢市一般会計予算	原案可決
議案第42号	令和5年度湯沢市国民健康保険特別会計予算	原案可決
議案第43号	令和5年度湯沢市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決
議案第44号	令和5年度湯沢市介護保険特別会計予算	原案可決
議案第45号	令和5年度湯沢市養護老人ホーム愛宕荘特別会計予算	原案可決
議案第46号	令和5年度湯沢市皆瀬更生園特別会計予算	原案可決
議案第47号	令和5年度湯沢市湯沢財産区特別会計予算	原案可決
議案第48号	令和5年度湯沢市院内財産区特別会計予算	原案可決
議案第49号	令和5年度湯沢市秋ノ宮財産区特別会計予算	原案可決
議案第50号	令和5年度湯沢市水道事業会計予算	原案可決
議案第51号	令和5年度湯沢市下水道事業会計予算	原案可決
議案第53号	令和4年度湯沢市一般会計補正予算（第13号）	原案可決
議案第54号	令和5年度湯沢市一般会計補正予算（第1号）	原案可決

○陳情（5件）

※は賛否が分かれたもの

▼総務財政常任委員会 審査（1件）

番 号	件 名	議決結果
陳情第32号	庁舎内における職員への政党機関紙の勧誘・配達・集金を自粛するよう求める陳情	採 択 ※

▼教育民生常任委員会 審査（4件）

番 号	件 名	議決結果
陳情第21号	安全・安心の医療・介護実現のため人員増と処遇改善のため国に意見書提出を求める陳情	不採択
陳情第22号	医療・介護・保育・福祉などの職場で働くすべての労働者の大幅賃上げのため国に意見書提出を求める陳情	不採択
陳情第23号	介護保険制度の改善を求める陳情書	不採択
陳情第31号	消費者被害を防止、救済するため特定商取引法の抜本的改正を求める陳情書	採 択

○意見書案（1件）

番 号	件 名	議決結果
意見書案第1号	特定商取引法平成28年改正における5年後見直しに基づく同法の抜本的改正を求める意見書	原案可決

陳情に対して討論が行われました

陳情第32号 庁舎内における職員への政党機関紙の勧誘・配達・集金を自粛するよう求める陳情に対する討論の要旨



高橋克己議員
 令和5年3月9日に開催された総務財政常任委員会の審査に当たり、市当局の担当者に出席いただき、市の状況を伺った。担当者の説明によると、本市においては、陳情理由及び陳情項目で指摘されている内容について、庁舎内の規則などを大きく逸脱する行為は確認できないとのことだった。このことから、陳情第32号は不採択とすべきと判断した。

反 対

賛否一覧表

採決で賛否が分かれた案件を掲載しています。
 議長は採決に加わりません。 ○：賛成 ×：反対 欠：欠席 退：退席 除：除斥

会派名	湯 和 会 ・ 公 明							政 和 会						湯沢政策研究会		議決結果		
	1	9	10	11	12	17	18	7	8	13	14	15	16	5	6			3
議席番号																		
議員名	兼子正寛	柏原久寿	高橋肇	佐藤愛子	高橋達	渡部正明	佐藤功平	寺田純二	小田嶋秋一	加藤昭嗣	石川隆一	高橋克己	沓澤正雄	藤田健志	大山豪	宮原晃	佐藤勝	
陳情第32号	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	×	○	採 択

※陳情第32号 庁舎内における職員への政党機関紙の勧誘・配達・集金を自粛するよう求める陳情

総括質疑

3月7日、令和5年度当初予算に対する予算決算常任委員会の総括質疑が行われました。

今回は、湯和会・公明2人、政和会1人、湯沢政策研究会1人の計4人が会派を代表して質疑を行い、令和5年度の各予算の内容についていただきました。

ここでは、質疑の内容の一部を抜粋して掲載します。



「湯和会・公明」
佐藤 愛子 委員



■未来投資型人材育成事業について

質疑 奨学金返済を支援する事業所の登録件数は増えているのかどうか。

答弁 企業による代理返還を導入している事業所数は2月末現在で1社を把握している。

企業による代理返還は法人税算定において優遇されるほか若い世代の人材確保に効果があると思われることから、今後も継続してPRに努めていきたい。

質疑 ふるさとdeまんぷく支援事業について、地元定着へつなげる事業なのか伺う。

答弁 長期休暇を利用して地元に戻ってきてもらい、地元で飲食し、交流を深めてもらい、地元への魅力を再認識していただきたい。

と考えている。また、地元定着への動機づけを図り、学生による賑わいの創出を目的に取り組んでいきたい。

「湯和会・公明」
兼子 正寛 委員



■ふるさと納税推進事業について

質疑 ふるさと納税を活用した市内産業や市内経済の活性化に向けた今後の取組みについて伺う。

答弁 特産品を内外にお示しすることができるとの絶好の機会であり、返礼品のラインナップを充実させ地域経済の活性化と知名度の向上を図っていく。

■デジタル変革推進事業について

質疑 持続可能なDXの推進についてどのような社会の構築を描いているのか伺う。

答弁 行政手続きをスマートフォ

総括質疑

ンやパソコンなどから各種申請、届出ができ、市役所に行かなくても済むような社会を目指したい。

■雇用創出対策事業について

質疑 地域雇用の拡大と地域発展に向けてどのように支援していくのか伺う。

答弁 支援が必要な企業へ直接的にアプローチしタイムリーな施策を展開し支援の強化に努めていく。



〔政和会〕
石川 隆一 委員

■ふるさと納税推進事業について

質疑 寄附増加策に関する具体的な取組について伺う。

答弁 寄附増加策として返礼品の全面的な見直しを予定しており、特産品同士を組み合わせたセット商品や人気のある返礼品の定期

便、寄附者ニーズの高い商品の新たな視点を加えた返礼品の開発を進めていきたい。

■空家等対策事業について

質疑 倒壊の危険がある空き家について、相続人の所在が不明な場合に行政の対応を伺う。

答弁 放置することにより危険が差し迫り、人命や財産に被害を及ぼし市民生活に支障を来すおそれがある場合は、降雪による被害や事故があった場合と同様に災害対策基本法の規定に基づき、地方公共団体と関係機関の連携により、被害の拡大を未然に防止することになっている。

■文化財資料収蔵庫管理費について

質疑 新たな資料収蔵庫の整備について、適切な保存環境の確保と維持管理について伺う。

答弁 旧三梨小学校を新たな文化財資料の収蔵庫として、適切な保存環境を確保することで床面の部分的な張替え、大型除湿機の設置や遮光カーテンの設置、火災報知設備等の工事を計画している。維

持管理は、資料の適切な配置や通気による温湿度管理、館内の清掃等を日常的に実施し、文化財資料の適正な保存に努めたい。

■ビジネス支援センター事業について

質疑 事業効果を検証し3年間の継続を決定したが、今後専門アドバイザーを増員する考えはあるか伺う。

答弁 今年度、湯沢Bizの事業評価でも検証されたとおり、相談ニーズにきめ細かに対応するため、専門アドバイザーの増員は必要であると考えている。令和5年度はデザインなど相談ニーズの高い分野について、スポット的に専門人材によるアドバイスを実施したいと考えている。



〔湯沢政策研究会〕
藤田 健志 委員



■観光物産団体強化事業について

質疑 湯沢雄勝版観光地域づくり法人(DMO)設立に向けた現在の進捗状況を伺う。

答弁 将来ビジョンの決定や参画団体の役割の明確化など、様々な課題については継続した協議を行っている。今後も課題等の解決の検討を進め、早期の設立に向け関係者と連携して取り組んでいく。

質疑 令和5年度の当初予算に設立後の運営費を計上していないようだが、理由について伺う。

答弁 郡市内3自治体及び観光事業者、そのほか様々な事業者の理解と参画が前提であり、まだ調整されていないことから、今回は設立以降の予算計上は見送らせていただいた。

令和4年度

一般会計 6億4,844万1千円の減額
 (補正後の予算総額は、302億1,808万8千円になります)

特別会計 2,906万円の増額
 (補正後の予算総額は、120億672万円になります)

◆ 補正予算の主な事業 ◆

《各会計補正予算》

会計名		今回補正予算額
一般会計		△6億4,844万1千円
特別会計	国民健康保険	△1,039万円
	後期高齢者医療	△2,611万円
	介護保険	5,472万円
	養護老人ホーム愛宕荘	35万4千円
	皆瀬更生園	81万5千円
	湯沢財産区	430万7千円
	院内財産区	281万4千円
	秋ノ宮財産区	255万円
水道事業	収益的収入	438万1千円
	収益的支出	2,403万4千円
	資本的収入	△9,994万6千円
	資本的支出	△9,802万7千円
下水道事業	収益的収入	△1,743万3千円
	収益的支出	2,250万7千円
	資本的収入	△385万3千円
	資本的支出	△1,464万4千円

- ▽障害者等給付費 (福祉課) 2,733万2千円
実績見込みに伴う所要経費
- ▽出産・子育て応援事業 (こども未来課) 2,042万円
妊娠届出時及び出生届時にそれぞれ5万円を給付し、出産子育てに係る経済的負担軽減を図るための所要経費
- ▽地籍調査事業 (財政課) 3,623万8千円
国の令和4年度第1次補正予算に対応した地籍調査業務経費および実績見込みに伴う所要経費
- ▽エネルギー価格高騰対策緊急支援金給付事業 (商工課) 3,899万7千円
市内の中小企業・個人事業者などに対する緊急支援金の給付実績見込みに伴う所要経費
- ▽冬期交通対策費 (追加補正含む) (建設課) 1億7,451万6千円
排雪計画に基づき不足が見込まれる所要経費
- ▽子ども・子育て支援事業 (こども未来課) 4,927万5千円
児童の送迎に使用しているバスなどに、児童の所在を確認する安全装置を設置する費用

◆ 関係私企業との請負契約などの状況 ◆

令和4年11月1日から令和5年1月31日までに締結した議員関係私企業との30万円を超える請負契約などの状況について、市長から報告がありましたので次のとおり公表します。

◆ 関係私企業との請負契約など (変更契約)

《関係する議員》石川 隆一 《請負人の氏名》柴田工事調査株式会社 代表取締役 五十嵐 誠

区分	事業名	請負契約などの内容	請負契約などの金額	発注期日	変更期日	納入期日など
変更前	社会資本整備総合交付金事業 (道路維持)	市道中ノ台横林線 道路測量設計業務委託	3,300,000円	令和4年7月27日		令和4年12月16日
変更後			3,350,600円		令和4年12月8日	

令和5年1月臨時会概要

1月17日に臨時会が開催されました。

提出議案の概要は、湯沢市農業再生協議会において適正な事務が行われず、対象農家に交付されるべき産地交付金が交付されない事態が発生したため、産地交付金相当額を市が独自に負担するための一般会計補正予算です。

未交付となっている対象農家の経営等を考慮すると、産地交付金相当額を市が負担することもやむを得ないと判断し、審議の結果、原案通り可決しました。

○提出議案：委員会審査（1件）

議案番号	件名	付託委員会	議決結果
議案第1号	令和4年度湯沢市一般会計補正予算（第11号）	予算決算	原案可決

◆ 補正予算の事業 ◆

- ▽農業経営所得安定対策事業（農林課） 3,172万4千円
水田活用の直接支払交付金に係る産地交付金相当額を追加交付するための経費の追加

皆さまのもとへ伺います！

開催団体募集中！

～議員と語り合おう～

出張！！なんでも意見交換会を開催します

【目的】

各種団体やグループなどを対象に、活動内容に沿ったテーマで議員と意見交換を行い、課題の共有や相互理解を深めるとともに、ご意見や要望などを議会活動に反映させ、政策提言などに生かします。

【対象者】

市内に所在する5名以上の市民等（市内に居住、滞在または通勤、通学する方）により構成され、5名以上で参加できる団体。

【開催日時及び場所】

申込書に記載された希望日時及び場所について、申込団体と調整のうえ決定します。なお、開催時間は原則として1時間30分以内とさせていただきます。

【申込方法及び問い合わせ先】

開催を申し込もうとする団体は、「出張！！なんでも意見交換会」開催申込書に必要事項をご記入のうえ、開催希望日の3週間前までにお申し込みください。

〈申込及び問い合わせ先〉湯沢市議会事務局（申し込みは郵送、FAX、Eメール、持参のいずれか）

〈住所〉〒012-8501 湯沢市佐竹町1番1号

〈TEL〉0183-73-2168 〈FAX〉0183-72-3780

〈Eメール〉gikai@city.yuzawa.lg.jp

申込書のダウンロードはこちら▶



【注意事項】

- ①報道機関に対して、あらかじめテーマなどの情報提供と当日の撮影を許可する場合がありますので、ご了承のうえお申し込みください。
- ②意見交換会の様子などを写真撮影し、市議会だよりなどに掲載する場合があります。
- ③テーマの内容や開催時期によっては、お受けできない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

議会のうごき

1月・2月・3月

- 1月5日 1月期 月イチ●オンラインミーティング、令和5年湯沢市消防出初式、議会運営委員会
- 1月13日 議会運営委員会
- 1月17日 1月臨時会、全員協議会、予算決算常任委員会(全体会)、広報広聴委員会
- 1月25日 令和4年度湯沢市芸術文化賞表彰式並びに祝賀交流会
- 1月30日 令和4年度湯沢市体育協会スポーツ賞授与式並びに受賞祝賀会
- 2月1日 全国高速自動車道市議会協議会 第49回定期総会(東京都)
- 2月2日 県関係国会議員面会(東京都)
- 2月3日 2月期 月イチ●オンラインミーティング
- 2月6日 令和4年度第2回秋田県市議会議長会定例会(秋田市)
- 2月9日 全員協議会、産業建設常任委員会委員協議会
- 2月10日 第6回議会改革推進研修会
- 2月15日 議会運営委員会
- 2月17日 令和5年2月秋田県後期高齢者医療広域連合議会定例会
- 2月22日 本会議(議案上程、提案理由説明)、産業建設常任委員会
- 2月27日 本会議(質疑・付託・採決)、予算決算常任委員会(全体会)、議会運営委員会、広報広聴委員会
- 2月28日 3月期 月イチ●オンラインミーティング
- 3月1日 本会議(代表質問)
- 3月2日 本会議(一般質問)
- 3月3日 本会議(一般質問)、産業建設常任委員会勉強会
- 3月4日 議会改革推進に係る協議(東京都)
- 3月5日 首都圏ふるさと湯沢会総会及び懇親会(東京都)
- 3月7日 予算決算常任委員会当初予算総括質疑
- 3月8日 予算決算常任委員会当初予算審査(各分科会)
- 3月9日 総務財政・教育民生・産業建設常任委員会、総務財政常任委員会所管事務調査
- 3月14日 議会運営委員会、予算決算常任委員会(全体会)、全員協議会、広報広聴委員会研修会
- 3月16日 議会運営委員会
- 3月18日 本会議(討論、採決)、予算決算(全体会)・総務財政常任委員会、全員協議会
- 3月22日 湯和会・公明要望・陳情等(~23日、東京都)
- 3月23日 湯沢政策研究会研修(~24日、東京都)、宮原晃議員研修(~24日、東京都)
- 3月27日 総務財政常任委員会、湯沢雄勝広域市町村圏組合議会全員協議会・定例会
- 3月28日 産業建設・教育民生常任委員会委員協議会
- 3月30日 県南地域市議会議長懇談会
- 3月31日 総務財政常任委員会所管事務調査報告書提出

議長交際費(1月・2月・3月)

支出区分	内 訳	件数・個数	金額(円)
祝金		0	0
寸志		0	0
会費	湯沢商工会議所新年祝賀会 ほか	15	93,000
弔慰		0	0
見舞		0	0
賛助	第53回川連漆器総合展示会議長賞(日本酒)代 ほか	3	18,440
接遇		0	0
印刷		0	0
合計		18	111,440

※各項目の詳細については、市ホームページをご覧ください。

6月定例会の日程(予定)

6月1日	本会議 開会(議案上程、提案理由説明)
6月5日	本会議 (議案質疑・付託、請願・陳情付託)
6月8日	本会議 一般質問
6月9日	本会議 一般質問
6月12日	(一般質問 予備日)
6月15日	予算決算常任委員会(分科会)、常任委員会
6月16日	(常任委員会 予備日)
6月20日	予算決算常任委員会(全体会)
6月23日	本会議 (採決) 閉会

※日程については変更になる場合がありますので、ご了承ください。

■請願・陳情の提出締切は5月25日(木) 午後5時

■議会傍聴

●本会議や委員会は当日の受付で、どなたでも傍聴することができます。開催当日、市役所本庁舎4階の議会事務局窓口までお越しください。

■議会中継

●本会議の様子を湯沢市議会ユーチューブチャンネルでインターネット配信(ライブ・録画)をしていますので、ご覧ください。

 秋田県湯沢市議会

ユーチューブチャンネル



編集後記

山菜取りでコゴミやワラビなどを見るといつも感心します。頭上に何があるか分からないのに芽を出し、倒木や岩石などがあっても構わず大きく成長している姿が、どんな厳しい状況でも乗り越え生きていくことが大事だと教えられているように感じるので。

私たちは約3年間、新型コロナウイルス感染症に苦しめられてきましたが、3月にはマスク着用ルールが緩和され、5月に予定されている感染法上の位置付けの変更に合わせて、さまざまな制限が緩和されます。

まだまだ注意は必要ですが、厳しい状況を乗り越えた私たちにも、明るい春が訪れたようです。

(小田嶋秋一記)

広報広聴委員会

委員長 藤田 健
副委員長 佐藤 愛
委員 佐藤 勝
委員 寺田 純
委員 小田嶋 秋
委員 高橋 達